

2013 年度ドクター研究員プロジェクト活動実績報告書

ふりがな 氏名	しばだい こうき 柴台 弘毅
(プロジェクト・テーマ名) その歌声は誰のものか — “VocaListener” を用いた歌唱表現に関する研究	
<p>(1) プロジェクトの概要</p> <p>「VocaListener」とは、独立行政法人産業技術総合研究所によって開発された、録音された人間の歌声からその歌い方を真似て、歌声を合成できる技術である。本プロジェクトは「VocaListener」、「VOCALOID」を事例に、音声合成ソフトと人間の声・身体・歌唱表現の関係を理論化することを目的として行われる、岡田正樹（UCRC ドクター研究員）、鍾允順（関西大学）との共同研究プロジェクトである。本プロジェクトは、小川博司（関西大学教授）主催「『声』の諸問題を研究するプロジェクト」の一環としてスタートし、同プロジェクトと連携しながら研究を進めている。</p> <p>(2) 活動の実績</p> <p>2013 年度は、計 8 回の研究会（うち 1 回は公開形式）を行った。第 1 回として 6 月 20 日に研究体制や今後のスケジュール確認、文献の選定を行い、第 2 回目（7 月 25 日）と第 3 回目（8 月 25 日）読書会を行い、第 4 回目～7 回目（9 月 26 日、11 月 8 日、12 月 23 日、2014 年 1 月 24 日）関連する複数の先行研究の整理、研究ノート執筆に関する議論を行った。第 8 回目は 2014 年 3 月 7 日に大阪市立大学杉本町キャンパスにて、公開形式で行った。当日の参加者は 10 名で、ドクター研究員による活動報告の後、ゲストである谷口文和氏（京都精華大学ポピュラーカルチャー学部）によるレクチャー、参加者を交えた質疑応答であった。</p> <p>(3) 成果の公表</p> <p>2013 年度は、ひとまずの成果を研究ノート（共著）としてまとめた。</p> <p>柴台弘毅, 岡田正樹, 鍾允順, 2014, 「VOCALOID/VocaListener における<声>と<身体>—関連研究の動向と今後の視座—」『人間科学』80: 27-40.</p> <p>(4) 今後の課題と研究プロジェクトの展開</p> <p>2013 年度は VOCALOID および声と身体に関する先行研究を整理・検討を行い今後の研究視座を提示したが、同時に、研究視野を広げ音響技術史研究へのアプローチが不可欠であることが明らかとなった。このことが今年度の最も有益な成果であると考えている。次年度以降は、関連領域の研究者との交流を活発化させ、音響技術史を中心とした先行研究の整理・検討を進め、最終的な研究成果報告を目指す。</p>	